

2020年度 保井ゼミナール説明資料

目次	
1. わたしたちの思い	2
2. 過去～現在～これから	3
3. 応募者への期待	6
4. 2～3年生のゼミについて	7
5. 4年生のゼミについて	12
6. 担当教員について	14
7. 選考について	15
8. 新3年生による説明資料	16

わたしたちの思い

明日の地域を今日よりも幸せに変えたいと活動する、
主体的な「暮らし手」に寄り添い、
それを応援する仕組みを考え、創り出したい。

過去：

ゼミが学生まちづくりのインキュベーター（孵化器）になってきました

2006～2009年	多摩ニュータウン諏訪地域での活動 ⇒地域系サークル「さんかく」へ
2015～2017年	法政大学団地プロジェクト「@団地」 ⇒地域系サークル「@団地」へ
2014年	隠岐島前合宿 ⇒国内研修プロジェクトとして引き継ぎ
2011～2018年	現代福祉学部遠野プログラム ⇒学生による被災地支援サークル「スタ学」へ

問題と未来の社会を塾考する。調査して真実を知る。解決策を企画する。実験して検証する。続く仕組みを創り出す。

⇒この歯車を回す**知恵**、**汗**、何より**情熱**が求められてきました。

現在(2019年度)：

奈良県宇陀市＊、相模原市城山地区若葉台、茨城県茨城町、地域活性化センター等と連携しながら、

- (1) 地域で明らかになっていなかったことを調査によって明らかにし、
- (2) その明らかになったことを地域の方々と一緒に検証し、
- (3) 必要なアクションを考え、一緒に取り組もうとしています。

＊財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団助成事業として、交通費等の援助を受けました（2020年度は未定です）。

詳細は本資料後半の学生による紹介資料をご覧ください。

これから(2020年度) : しっかりと現場に入り、調査を通じてこれまで見えなかったことを浮き彫りにします。その上で、地域の方と一緒に
なって「**未来の当たり前**」を追求していきます。

2020年度に予定している取り組み

- いずれのプロジェクトも、保井研究室に進学する**2名の大学院生、ゼミ上級生**とともに、しっかり調査に取り組みます。
- 現時点で予定しているプロジェクト例
 - 新しい地縁コミュニティを考える調査プロジェクト（トヨタ財団に一部助成を受けます）
 - 奈良県宇陀市松山地区（ハウジング＆コミュニティ財団に一部助成を受けます）
 - 相模原市城山地区若葉台（大学の近くで、地域交流センターとも連携予定です）
 - 茨城県茨城町（町役場に、保井ゼミOBがいます）
 - そのほか、某プロスポーツチームとの連携等も検討中です。

応募者への期待

ゼミへの**コミット（主体的関わり）**を**高め**に持てる人。

ほんの少し、自分の時間を犠牲にしても自らの資源をゼミ活動に割り当て、地域でのフィールドワークを行い、それによって自分の成長を実現させる**“意思”**を持つ人。

2～3年生のゼミで行うこと

①自分と仲間、地域を知る

- － 対話を通じて自分の関心を知り、仲間との共通点や相違点を探って、ゼミの運営方法を考えます。
- － 地域で何が起きているのか、将来はどんな変化が起きるかを一緒に考えます。

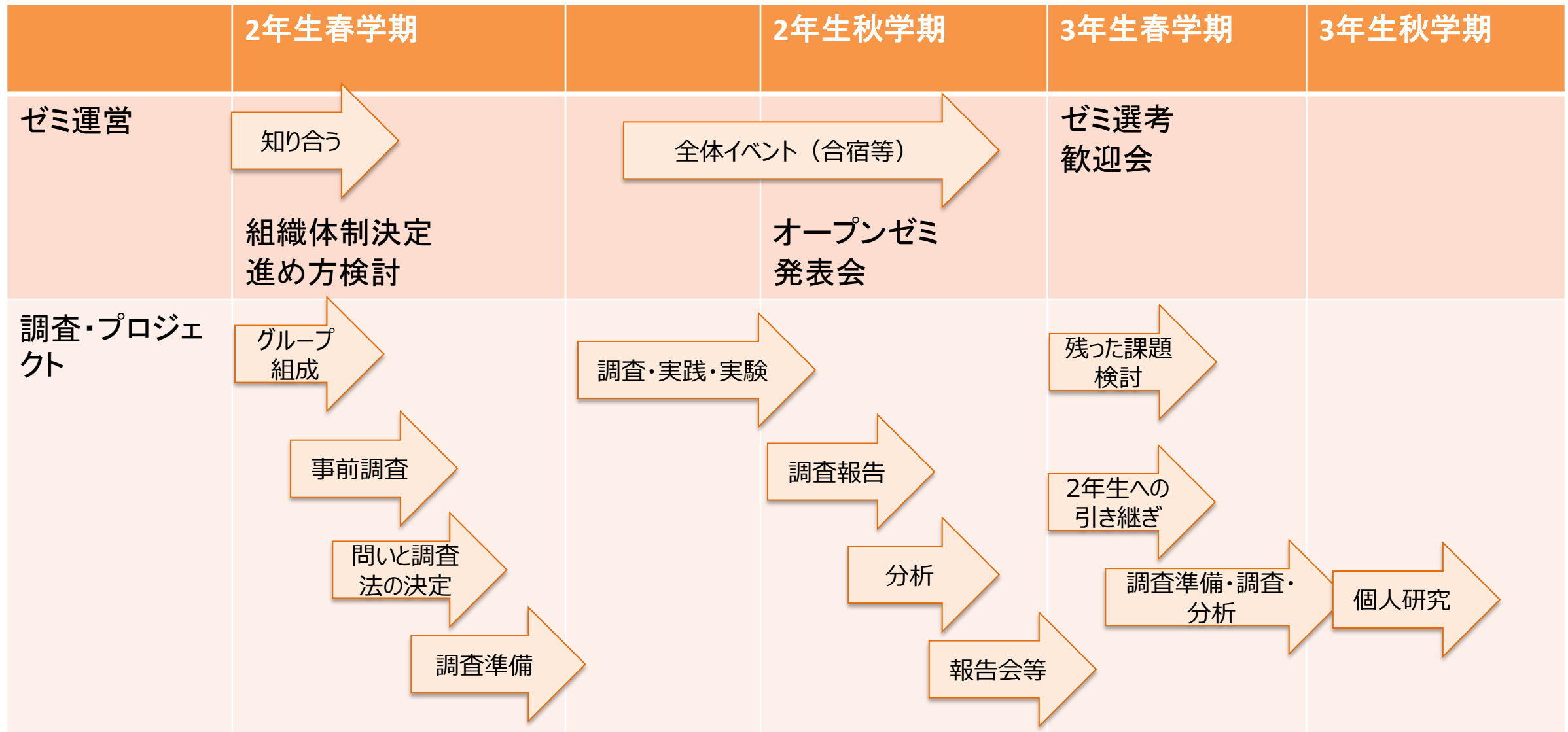
②調査研究のための基礎的スキルの習得ワークショップ

- － インタビュー、アンケート作成や実施
- － 定量的データの作成と分析
- － 文献整理と分析 等

③地域プロジェクト

- － 地域の現状と課題・可能性を知るためのリサーチ
- － リサーチ発表、提案、ワークショップ
- － 実践に向けた活動 など

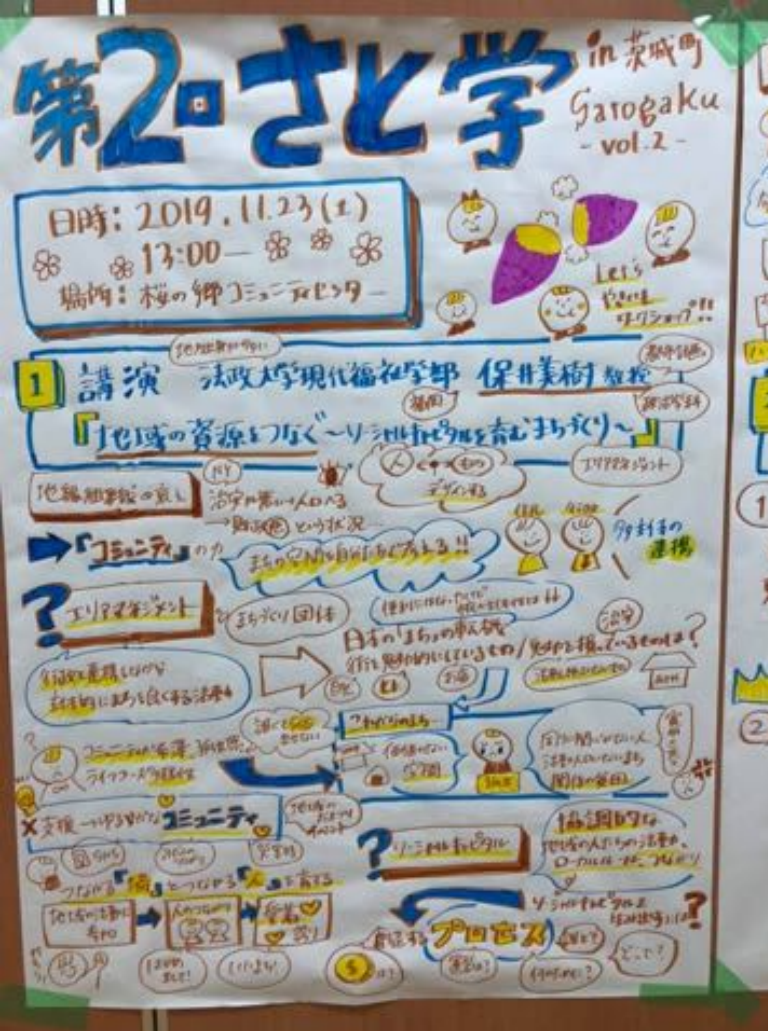
2～3年生のゼミスケジュール（イメージ）





ゼミ内の意見交換

とにかく話して、書いて、
発表して、議論する



グラフィック
ファシリテーションや
ワークショップデザインを重視し、
議論の見える化、共有方法を
工夫しています。



ゼミ以外の時間にも集まって活動する学生たちが多い。

→その経験の分厚さが学生時代の充実につながっています。

4年生のゼミで行うこと

4年生は1年間かけて、卒論に取り組めます。4年間の集大成です。

- テーマの設定
- テーマに関する現況や課題の調査、既往研究のまとめ
- 調査方法の検討・決定
- 調査の準備
- 調査の実施
- 調査結果のまとめ
- 調査結果の分析
- 卒論執筆
- 卒論プレゼンテーションの準備
- 卒論発表会

卒論テーマは、まちづくり＝貴方の周りにある全て

近年の卒論テーマのカテゴリー

- まちの問題を解決する主体とプロセス（伝統的建造物保存地区を守るコミュニティなど）
- 地域の資源の発掘と利用（空き家の活用など）
- 観光まちづくり（アニメツーリズム、ゆるキャラの効果検証など）
- 新技術の活用（Maasによる地域交通、仮想通貨の可能性など）
- 地域で子どもを育てる（海外調査等もあり）
- 地域で高齢者や障がい者を見守る方策（認知症を抱える家族の集い調査、障がい者の働く場所分析など）
- 都市と農山村の連携（フィールドワークを通じた調査）
- 工場跡地、廃校等、使われなくなった資源の利用（廃校の事例調査等）
- 社会的起業、ソーシャルビジネス 等々

担当教員について

研究分野＞ 都市計画・都市政策

特に、まちの運営の仕組み（エリアマネジメント、コミュニティデザイン）について研究

- ✓ 街を運営するための財源は、どう調達するのか。
- ✓ 行政と民間の連携（パートナーシップ）組織化
- ✓ まちづくりのイノベーション（技術導入など）

立上げ・運営を支援している団体（学生の参画も期待）

- ✓ 東京）各地のエリアマネジメント組織支援
- ✓ 岩手県遠野市）遠野みらい創りカレッジ理事
- ✓ 北海道 札幌市）都心まちづくりの推進とエリアマネジメント仕組みづくり
- ✓ 愛知県名古屋市）様々なエリアの地域まちづくり団体の支援
- ✓ 愛知県豊田市）都心地区のまちづくりの仕組みづくり、拠点運営の
- ✓ 沖縄県北谷町デポアイラント会）新しい観光まちづくりの支援
- ✓ 都市計画学会理事、計画行政学会理事、エリアマネジメント人材育成研究分科会 代表
- ✓ 全国エリアマネジメント・ネットワーク副会長
- ✓ ミズベリング（水辺の利活用促進）アドバイザー

選考について(以下の手順でお願いします)

- (1) 保井ゼミHPにアップされているエントリーシートをダウンロードして記入してください。
<http://yasuilab.ws.hosei.ac.jp/wp/>
- (2) エントリーシートに指示されているエッセイを作成ください（書式自由）。
- (3) 4/2 11:00までに、事務課から連絡されたメールアドレスに、上記(1)(2)を「添付ファイル」にて送ってください。
- (4) 4/3 11:00までに、4/4の面談スケジュールをお知らせします。
- (5) 4/4 14:00～、大学にて面談を行います。上級生との対話、教員面談を予定しています。なお、2020年度は、対面orオンラインによる面談を選べるようにする予定です。
- (6) 定員を超えたら、エッセイと面談を踏まえて選抜します。その決定は教員の責任で行います。（絶対に、部活やサークル等のコネはありません。） 4/5中にメールとゼミHPにて発表予定です。

新3年生による 保井ゼミ説明会資料

教員名：保井 美樹

曜日時限：金曜 5 時限

教室：201教室

ゼミの内容について

① 全員の関心を入れ込んで一つのプロジェクトを構築し、全員が均等・公平に参加する全体主義的なスタンスではなく…

「個人がやりたいことを実現する」

それを様々なスタンスで協力・応援し合う中で多面的な地域づくりに関する学びを得る。

② 全員で一つのプロジェクトに取り組むというよりは、グループ単位でプロジェクトを組み立て、その志や課題についてゼミで共有する。

専門演習Ⅱの後半からは個人研究に向けて準備を始め、専門演習Ⅲでは、各自がテーマに基づき調査研究を進めます。ゼミでの報告と討議を踏まえて調査を進め、演習Ⅲの最後に卒業論文を仕上げる

お互いの興味関心テーマの共有からスタート

お互いの興味関心について共有するが、その結果が一つのプロジェクトになるとは限らない。

＼2019年は、4つのプロジェクトチームが誕生／

①

まちづくりの人材育成

②

スポーツ×まちづくり

③

コミュニティ づくり

④

地域の魅力

活動の紹介あります

活動紹介① まちづくりの人材育成

島根県隠岐島出身と長野県川上村出身の島村コンビで活動

＜活動の目的＞

高校と大学の連携を強化する

→ 地域系について学べる大学とその特徴を高校へ繋げる

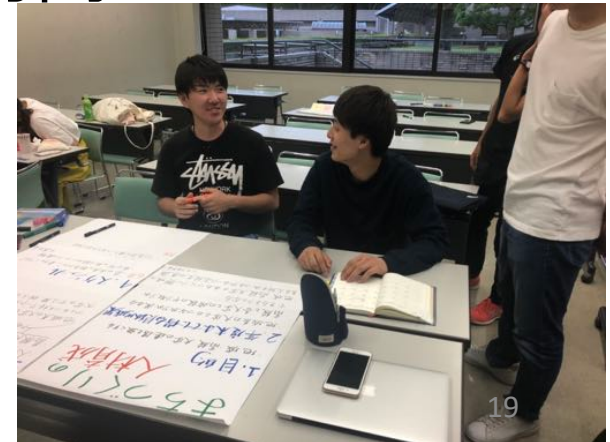
＜これまでの活動＞

① 実際にまちづくりと人材育成で有名な島根県海士町に訪問

② 各大学のリストアップ etc.

＜今後の展開＞

まちづくりについて学べる大学の特徴を1冊の本にまとめる。



活動紹介② スポーツ×まちづくり

<活動の目的>

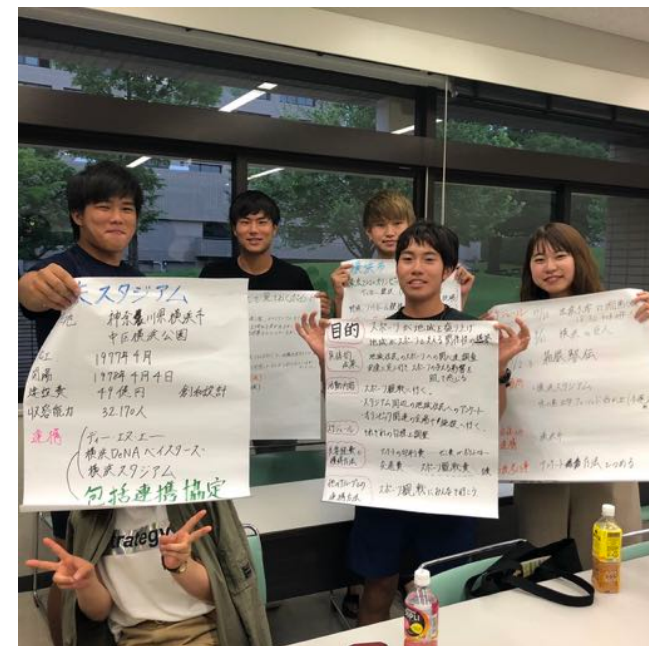
スポーツが地域を盛り上げ、地域がスポーツを支える関係性の構築する

<これまでの活動>

- ① スポーツ観戦やオリンピック関連の会場や施設へ行き、スポーツとまちの関係性を考える
- ② スタジアム周辺の地域住民へのアンケート etc.

<今後の展開>

地方のスタジアムの現状や、周辺のまちの様子をさらに深掘りしていく



活動紹介③ コミュニティづくり

～相模原市若葉台について考える～

＜活動の目的＞

人と人の関わりを深めて世代を超えて協力しあえる地域を目指す

＜これまでの活動＞

① 「若葉台を考える会」に参加

実際に若葉台の住民の方々と意見交換

② アンケート実施

若葉台を考える会の皆さんの協力もあり、
若葉台全世帯に向けたアンケートを実施。

全881軒に実施し、その内630軒の方が回答

＜今後の展開＞

□ 若葉台住民の方へ向けた報告

□ イベントの企画・準備→実施 etc.



活動紹介④ 地域の魅力

＜活動の目的＞

地域の魅力を発見し、発信すること

＜これまでの活動＞

- ① 奈良県宇陀市にて行われたアートイベント「はならあと」に参加
- ② アートイベント「はならあと」でアンケート調査を実施



ゼミ合宿もやります！

2019.11.22~23 地方創生「さと学」in茨城町



2020年の合宿はまだ未定です。

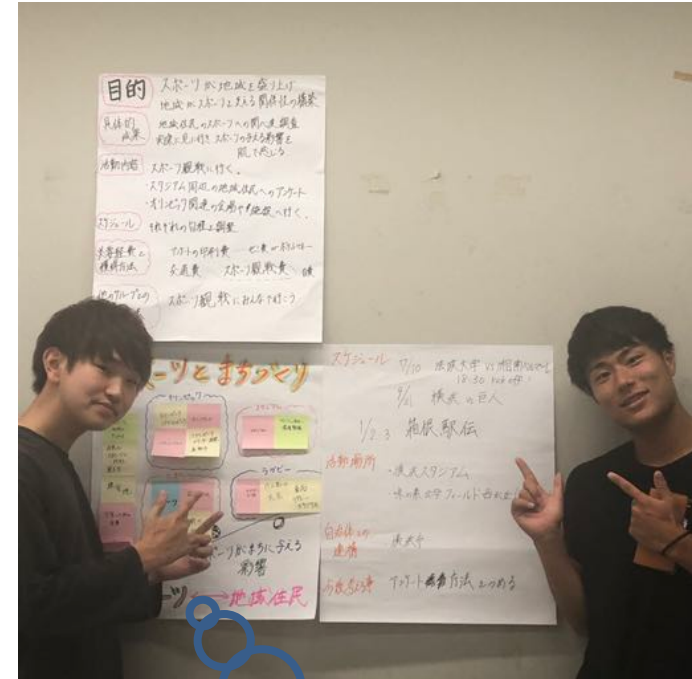


ゼミの雰囲気 ★★★★★



こんな日も（笑）

ポストイットに意見を
書きながら話し合い



今日話し合った内容を模造紙に
まとめて全体で共有します！
回数を重ねるごとに、まとめ方が
上手になります

自分でゼミを動かしていきたい人、
地域の中で企画を実現させてみたい人など、
まちづくりに関心がある人を歓迎します！

選考会選抜方法

保井ゼミのホームページからエントリーシートをダウンロードし、
記入の上、提出してください。定員を超えた際は、面接を行います。

<https://yasuilab.ws.hosei.ac.jp/wp/>